



**知事感謝状が
贈呈されました**

これまで指導農業士としてご活躍いただきました中村秀美氏(松瀬)に、県知事から感謝状が贈られました。



**日高地方駅伝競走大会
が開催されました**

令和8年1月18日(日)に、御坊運動公園において第62回日高地方駅伝競走大会が開催され、小学生と一般の選手が9区間18.0kmを力走しました。第7区で区間賞を取る走りも見せてくれました。結果は次のとおりです。

選手の皆様 (敬称略)

〔監督・熊代 信彦〕

○第1区(2.0km)	藤本 望結	7分49秒
○第2区(2.0km)	赤松 右興	6分53秒
○第3区(2.0km)	谷本 悠	5分58秒
○第4区(2.0km)	小瀬 心咲	8分08秒
○第5区(2.0km)	岡崎 秀成	7分15秒
○第6区(2.0km)	小田 堅太	6分26秒
○第7区(2.0km)	松下 優花	7分45秒 [区間賞]
○第8区(2.0km)	谷 快理	8分09秒
○第9区(2.0km)	小山 智成	5分48秒



令和3年11月ゼロカーボンシティ宣言 2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指します

〜できることから始めよう〜

**ゼロカーボンシティ
ひだががわ**

お問合せ 企画政策課 ☎0738-23-9511

ファッション

ファッションのあり方をアップデートして、次世代の環境につなげよう。

私たちの生き方を豊かにしてくれるはずのファッション。それが今、私たちの未来を脅かしているをご存知でしょうか？
資源の過剰使用、大量の廃棄物、化学物質の使用による水質汚染など、大量生産・大量消費・大量廃棄型ファッションは今や生命の生存を脅かす環境問題を作り出しています。

何ができるかな？それをするとながが良いの？

<p>持っている服を長く着る 一番簡単です！</p> <p>お直しやリペアで長く楽しむのもいい。お直しやリペアで着るよりダメージが少なく、新しい服を買う頻度が減り、洋服にかかる費用を抑えられます。</p> <p>長く大切に着る。それだけで環境にもいい。履きよりも1年長く着るだけで、日本全体のCO2削減量を4%以上削減できます。</p>	<p>本当に必要か見極めよう 頻りに買って着ていない服ありませんか？</p> <p>衝動買いを減らして無駄な出費を節約！衝動的に買って、ほとんど着ていない服はありませんか？約6%の方が、所有する衣類の量を把握せずに服を購入し、クローゼットを圧迫し、必要な服を買うようになります。</p> <p>長く着られる服を選び長期的な節約とCO2削減。一番長く着るために品質を重視し、価格に合う信頼できる商品を購入しましょう。私たちの衣類の購入単価は年々下がっていますが、着用期間は短くなっていきます。</p>
<p>古着や環境に配慮した服を選ぶ 古着ならではの個性的なファッションも楽しめる！</p> <p>古着でお得におしゃれを楽しもう。市場に再流通する衣類の量は、私たちが手放す衣類全体の約2割程度。服を履きながら再利用し続けることが、最も環境に優しく経済的でもあります。</p> <p>その服の物語に目を向けよう。商品タグや表示ラベルを見たり、店員さんやブランドに聞いて、素材や生産ルートを確認しましょう。関心をもちつつという行為が、業界全体に大きな動きを促します。みんなの関心の物語を大切に。</p> <p>“再生原料”との素敵な出会いを。リサイクル素材を使用した衣類に配慮した作りがされている衣類は、作り手の手元で使われていない“付加価値品”です。素材を再利用して作られたジーンズ、ペットボトルから作られた靴紐など、その製造工程に秘められた驚きを探ってみましょう。</p>	<p>手放し方を考える 交換やシェアもファッションを楽しむ新しい形！</p> <p>古着を店舗に持ち込もう。古着回収を行っている店舗を探してみましょう。履きながら回収によりゴミとして廃棄・焼却されなければ、約0.35kgのCO2が削減されます。</p> <p>古着を資源として回収に出そう！多くの自治体で古着を資源として回収しています。回収方法は各自治体のホームページで調べましょう。グループで集団回収を行えば、自治体より奨励金などを受けられることも！</p>

デコ活 暮らしの中のエコがけ

サステナブルファッションについて、もっと知りたい方はこちら

**株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ様より
食育物品をご寄贈
いただきました**

令和8年1月29日(木)に、株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ様から町への食育物品の贈答式が行われました。

今回寄贈いただいたのは、人気アニメのキャラクターをデザインしたお皿などの食育物品、計737セットです。これらは、町内の保育園児や小学生児童に配布されます。本寄贈は、町内の園児や小学生に対し、食育の一環として、食事本来の美味しさに加え、より一層「食の楽しさ」を感じてほしいとの思いから行われたものです。子どもたちが日々の食事をより楽しく、前向きに捉えるきっかけとなることが期待されます。

町では、今回のご寄贈に対し、心より感謝申し上げます。今後も食育の推進に取り組んでまいります。